

## 1. 1 デザインのクラスレース

Hobie Catamarans の設計・開発は厳しく強いられた 1-デザインクラスに向けられています。それは艇ではなく、本当の吟味するところはセーラーとセーリングスキルあります。

ハルの形状、構築、装備品、スパー、セールまたはリギンへのあらゆる変更はビルダーによって供給します。これらの規則によって特別に認めた以外は精神的には、そして、実質上、これらの規則の違反で、禁止されると認めました。

## 2. 意図と目的

Hobie Catamarans は、所有者にとって最小源で帆走するのが簡単であるように設計されています。

艇と構成要素の変更(艇速度に直接の関係を全く持っていない)は許可された唯一の変更です。INTERNATIONAL HOBIE CLASS ASSOCIATION(IHCA)RULES の意図と目的は以下の通りです。

- a) 各艇を同等に保つために、簡単そして厳格に維持することによってできるだけコストフリーとし、逸脱なしで、クラスレースのための Hobie Cat 1-デザインの特徴です。
- b) レース戦術と帆走技術だけを用いることによりボート速度を上げます

### 2.1 定義

- a) 国際 Hobie Class Association は今後 IHCA と呼ばれるものとします。
- b) ホビーキャット米国、ホビーキャットヨーロッパ、および彼らの尊敬された許可者と共に立つ利益にはいる彼らの免許所有者のいずれも今後ホビーキャット CO と呼ばれるものとします。
- c) 国際 Sailing Federation は ISAF と呼ばれるものとします。
- d) 国際 Sailing Federation Racing Rules は RRS と呼ばれるものとします。

## 3. 測定

- a) IHCA とその指定された測定者が RRS 64.3 b の意味の下における Hobie Class のための測定権限である。

IHCA にはどんな Hobie Cat でも不適格者であると宣言する権利があります。そして、それは精神、目的と意図にかないません。同様に ISAF によって持たれるこれらの規則と公式図面と仕様の書面もです。

結局、図面は ISAF によって持たれていません。それらはそれぞれのホビーキャット CO によって保持されるものとします。

- b) これらの規則、公式図面と仕様、問題の書面で不服従を主張している論争の場合、一般クラス Rule 23 の準備中で判決をする IHCA Rules 委員会は、どんな関連した情報と共にでも言及されます。

- c) 問題についての論争がこれらの規則、公式図面と仕様によってはっきりとカバーしなかった測定値の場合、以下の手順で採用されます：

5 隻の他の艇のサンプルは、指定の測定者によってされて、同一の技術を使用して測られます。

異議を唱えられた艇の寸法は、これらの 5 隻の艇から得られる最大で最小限の規模寸法の間で等しいかの確認です。

問題の艇がこれらの局面の外側にあるならば、問題は、どんな関連した情報と共にでも、最終的な判決をする IHCA Chief Measurer にゆだねられます。

サンプルの寸法のいずれかが珍しいと考えられるならば、すべての関連した情報は同様に IHCA Chief Measurer にゆだねられます。

## 4. 隙間

もしあなたが隙間を見つけたと思うならば、もう一度前の声明を読んでください。これらは、規則の基礎であり、規則でカバーされなかったすべての領域をカバーしています。

通常、あなたがその規則にリストされるのを発見することができないならば、それは法的クラスではありません。

あなたに確信がないならば、最初に IHCA と相談してください。承認が文章であるに違いありません。

## 5. HOBIE CAT のメーカー

5.1 「元々製造されているとしてのホビーキャット会社による艇とコンポーネントの部品がこれらの Class Rules で明確に受け入れられない場合競走をするクラスを分類してください。」すべてのボートの製造の起源と商標は通し番号、ハルの番号、セール、およびキャストの部品を通して容易に身元保証可能になるでしょう。オリジナル・インボイスか保証書のコピーは要求されるかもしれません。

起源の証明は、陪審の要請と同時に確認のために IHCA またはその許可された代表に提出されるか、委員会に抗議します。

艇長または彼らの艇または構成要素の製造起源を抗議してもらった艇の所有者は、起源の許容できる証明を生じるために、最高 2 週を持ちます。」

5.2 ISAF の飾り額は、1990 年 1 月 1 日以降造られたすべての ISAF が認めたクラスのために、トランサムに永久に付けられるものとしてします。

## 6. 装備品の非ホビーキャット会社のメーカー

非 Original Equipment Manufacturer (OEM) のメーカーと卸売業者は別れます、そして、Hobie カタマランのための器材は「Hobie Class Legal (クラス法的)」に指定されている彼らの部品と装備品の前に IHCA から書面での承認を得るものとしてします。

## 7. 設計上の特徴と承認済み変更

何らかの方法で艇の構造的完全性、設計機能、または内蔵の安全機能を変更するどんなホビーキャットからも、何も変えないか、取り除かないかもしれません。すべての変化には、書面による事前の承認があるものとしてします。

彼らが基本的なデザインと構成を変えないならば、承認済み変更は以下の通りです。より強いガジョン、より強い pigtails、より大きな直径のワイヤとリギン。水の流れに影響されない補強されたフランジになります。これらの規則で許容されている以外に、何らかの方法で速度装置として解釈されるどんな変化や追加も法的クラスではありません。

## 8. 安全装置

8.1 艇上のそれぞれの人はそれらの国の国内当局が管轄する国内当局によって承認された救命装置かパーソナル Flotation Device(PFD)を持っていくものとしてします。IHCA は、救命胴衣か PFD がいつでも着られるよう強く勧めます。

8.2 直径の最小限\*3/8 (9.53mm) の沈起こしラインもしくは 14 フィート(4.27 メーター)の長さで少なくとも 1 本から成るラインか帯紐、または 2 本の長さ、8 フィート (2.44 メーター) ラインか帯紐が安全に取付けてあり、ボートの各側面からすぐにアクセスできます。沈起こしラインもしくは帯紐は他のすべての必要な設備に加えているものとしてします。(独特のボートクラス規則で異なって指定されない場合)

\* ウォーターバッグを起こし、装置をのばし、ポールタイプ装置をまっすぐにして、指定される最小限のシステム以外のシステムとして、運ばれるかもしれない、目的だけに使用されるものとしてします。

8.3 パドルまたは同等物は、許容されていて、推薦されますが、必要ではありません。

8.4 アンカーは必要ではありません。

8.5 追加装備。(その追加装備は管轄する政府か国内当局によって必要とされます)

## 9. ハル、デッキ、およびラダー

9.1 ハルは、メンテナンスの通常のプロセスでこすられるか、ワックスを塗られるか、紙やすりで磨かれるか、またはバフで磨かれるかもしれません。

9.2 摩擦還元剤は全くハル、ラダーまたは板で使われないかもしれません。

9.3 磨り減ったハルの底は作り直されるかもしれません。作り直されたハルは原形に従わなければなりません。テンプレートはホビーキャット CO から入手可能です。

9.4 デッキの部分、またはデッキフランジはここにどんな形であれ許される場合を除いて、何らかの方法で変えられるか、切り

除かれるか、減らされるかします。

後部のトランサムフランジはより大きなガジョンを受け入れるかラダーピンで脱落を修繕するために最大 2 インチ (5 cm) の刻印を付けられるかもしれません。水不浸透性デッキアクセス舷穴は装備されるかもしれません。

9.5 HOBIE CAT CO によって供給されてるハル浮揚はブロックします。取り除かないか、またはサイズを縮小しないでしょう。

9.6 非滑り止めの表面がサイズと位置で元々設計された領域と少なくとも等しいなら、デッキの非滑り止めの表面を変えるかもしれません

## 10. ラダーとラダーのアセンブリ

10.1 ホビーキャット CO から供給されたラダーのアセンブリとラダーブレードは最小限の機能向上のためのファイリングや個々の艇の規則で特別に許されていない場合を除き、変更しないものとします。

10.2 シームは多分ラダーとラダーハウジングの間に取付けられ良く機能します。

10.3 シームまたはブッシングはラダーピン、ガジョンとグースネックの間に取付される良く機能します。

10.4 ショックコードは、ラダーに結びつけられることによりラダーのキックアップをコントロールを助けるでしょう。

10.5 ラダーレーキ調整装置は、現在のホビーキャット CO デザインにインストールされて、アップグレードするかもしれません。

10.6 ラダーブレードは、正しい舵に最高 1/2 インチ (12.5mm) まで、上の最先端に刻み目で記録されるかもしれません。

10.7 各々のラダーブレードの最小限の重さは、3.0 ポンドです。(1.36kg)

10.8 ホビーキャット CO によって供給されるより交替舵ピンの長さと同様直径が少なくとも同じ局面であるかより大きいならば、ラダーピンは変わるかもしれません。ピンはプラスチック、アルミニウム、ナイロン、合成物、またはステンレス鋼料で作られているかもしれません。

## 11. ティラーアセンブリ

11.1 ティラーエクステンションは、拡張可能か非拡張なデザインのうちどちらかであるかもしれませんが、工場がエクステンションを供給したのと同じ場所に一端をクロスバーに接続する一つのティラーです。

ティラーエクステンションはすべて北米の地方の艇で非電気導電材料で出来ています。

非電気導電材料ティラーエクステンションは世界中のすべての艇で推奨されます。

11.2 ティラークロスバーとラダーアームコネクタとエンドキャップは機能的に同等である他のタイプと入れ替えられるかもしれません。

## 12. セイル

12.1 個々の艇クラスルールで異なって指定されない限り、法的クラスなセイルはホビーキャットの CO の公式のパターンから作られて、製造されてホビーキャット CO または現在認可されたセイルメーカーによって配布されるものとします。

a) セイルはわずかにリカットかもしれませんが、決められた最初のサイズと形が増やされないか老化とセイルのチューニングでの正常な伸び以外です。

b) ウインドウズとテルテールは要望通り加えられるかもしれません。

c) カニンガムはどんなセイルにもインストールされるかもしれません。個々のボートクラス規則で指定されない限り最大の購入は 2:1 を上回りません。

12.2 個々のボートクラス規則で異なって指定されない限り、ホビーキャット CO によって供給される標準のパテンだけが使用されるものとします。パテンはカスタムカットし要望通り先細りしてあるかもしれません。

a) セイリングしている間調整可能でないなら、どんなタイプのパテンキャップも使用されるかもしれません。

b) 2 個のパテンがメインセイルの一番下のパテンポケットで使用されるかもしれません。

12.3 セイルが破損して使用可能である限り、スキッパーはレースまたはレガッタの間にセイルを変えないものとします。セイルを変える許可は書面でレース委員会の PRIOR からを受け取らなければなりません。

12.4 すべてのメインセイルのセイル番号はホビーキャット会社によって割り当てられて、IHCA に名前を登録するものとします。写し番号は 1 艇の個々のボートだけに割り当てられます。国家の文字を加えるかもしなくて、セイルの番号とクラス記章の

下のメインセイルの上に表示するものとします。RRS 付録 G を変えます。

a) セイル番号は高さ 10 インチ (25.4cm) です。これは RRS Appendix G 1.2 (b) を変えます。

b) セイル番号はセイルの両側で区別できます。

12.5 すべてのメインセイルが「H」という Hobie 登録商標ロゴを示すものとします。(それは、クラス記章です)。

12.6 摩擦減少装置に適用されるか、または取り付けられるかもしれない、セイルを上げ下ろしするのに助けるラフロープです。

12.7 それが最初の場所の 3 インチ (7.6cm) の中に位置する等しいサイズかより大きい鳩目金がある限り、Hobie セイルの上のどんな鳩目金でも取り替えるかもしれません。

12.8 リーフィングは許されて、どんな方法でもメインセイルのワイヤハリヤードが COMPTIP の下に広がらないものとする北米地方を除いて、装備されるかもしれません。

12.9 ホビーキャット会社によって連続して割り当てられたセイル番号は長さが 1~6 桁であるかもしれません。

文字と数字はヘッドセイルとスピナーカーの上に必要ではありませんが、使用される時はメインセイルと同じ番号になるでしょう。これは RRS Appendix G を変えます。

### 13. マスト

13.1 13.3 に対して用意されている場合を除いて、マスト押し出しの部分はどんな形であれ変えられません。

13.2 供給される場合を除いて、内蔵装置は許されません。

13.3 COMPTIP は Hobie タイガー、Hobie Dragoon、Hobie FX-1、および Hobie フォックスを除いて、南米地方(アルゼンチン、ウルグアイ、およびブラジル以外)と北米地方に義務的になるでしょう。そしてそれは、アルミニウムマストによって世界中で競走をされるものとします。

すべてのセラーはこの規則に 1 つの免除が与えられるでしょう。1 つの免除が与えられたあと、義務は試みが COMPTIP を得させられたということを証明するために個人の上にあります。COMPTIPs の工場の入荷待ちの品の場合では、入荷待ちの品がそのような入荷待ちの品の証拠に単にいっぱいにされるまで、一時的な免除は承諾されるでしょう。COMPTIP とアルミニウムマストは北太平洋と世界的な地方で合法的になるでしょう。

1995 年 1 月 1 日の Hobie17COMPTIP マストが南太平洋地方で義務的になる前に製造されていた H-17 ボートに、COMPTIP と ALUMINIUM マストが合法であるヨーロッパの H-17 を除いて、すべてのアルミニウムマストが南太平洋、南アフリカ、ヨーロッパ地方、アルゼンチン、ウルグアイ、およびブラジルで義務的です。

Hobie18 のすべてのアルミニウムマストは南太平洋地方で義務的になるでしょう。2003 に造られた Hobie Dragoons は(後部ビームの上で付けられたホビーキャット社の額に刻まれるように)北米地方で競走をするとき、COMPTIP を使用し続けるかもしれません。

### 14. ブーム

14.1 ブームの押し出しの部分は、どんな形であれ変えられません。

14.2 メーンシートブロックを掛ける目的でブームベイルは、加えられるか、削除されるか、または移動するかもしれません。

14.3 供給される場合を除いて、どんな内部の装置も許容されていません。

### 15. ワイヤ

15.1 ホビーキャット CO によって供給されるワイヤーの直径は減少しないでしょう。それらのサイズは増加するかもしれません。すべてのワイヤーはブライダルは例外で短くされるか、または伸されるかもしれません。

15.2 シュラウドとフォアステイはホビーキャット CO に供給されたシュラウドアジャスターと接続されます。ねじれトルクを取り除かないで、供給するように使用しなければなりません。

15.3 ワイヤの長さを変えることの代わりに追加アジャスターはフォアステイに加えられるかもしれません。

15.4 ホビーキャット CO によって提供されたフォアステイアジャスターの上の U 字かぎとピンは、クイックリリースピン、シヤックルまたは似かよった装備に取り替えるかもしれません。

## 16. 装備

16.1 一つのブームバングは加えられるかもしれません。それはマストのベースに付けられているかもしれません、そして/または、プリベンターとして使われフロントクロスバーの上で端から端まで可動であるかもしれません。バングはトラックかワイヤーの上で動かないものとします。それは同時に、艇の両側に固定できます。最大の動的比は 3:1 を超えていないものとします。

### 16.2 シートとライン:

- a) これらの規則が個々の艇のクラス規則で定められない限り、シートとラインのどんな直径と品質も使用されるかもしれません。
- b) ホビーキャット CO によって供給されるのを除いてワイヤーのどんなシート、全部作られたラインまたは一部も禁止されています、スピネカーハリヤードシステムを除いて、個々のボート Class Rules に許容されていない限り、シートとラインが先細りするものが許容されていません。

16.3 ブラケット付きのコンパスまたはタイミングと見出し記憶を提供するがデータを送らないか、転送しないか、受信しけない電子装置は許されます。特に個々のボート規則または特定のイベントまたはレガッタのためのレース公示によって許されない限り、ナビゲーションと速度をメーターで測る装備の使用は違法です。

ラジオが天気情報のために、そして、以下の状況の下の非常事態のために使われるかもしれません:

非常事態でない限りあるいはレース公示と Sailing Instructions で指定されない限り、船上でラジオは 1 日の最初のレースに関するボート Class 予告信号の前の 1/2 時間から 1 日の最後のレースの終わりの後までオフにされて、収納されるものとします。

船上でラジオは非常事態のために 16.3a) の時間規制の間、ON をどんなチャンネルにでもつけられます、競技者はすぐにリタイヤして、レース委員会にその行動を知らせるものとします。

船上でラジオの不適切な使用は、Fair Sailing RRS2 の下のプロテスト行動であり、レースまたは全てのシリーズからの資格剥奪をもたらすかもしれません。

16.4 個々のボートクラス規則で指定されない限り、道入優位性が 7:1 のメインシートシステムと 3:1 のジブシートシステムまでまたはより少なく等しいままであるならば、メイン、ブームとジブシートブロックが異なるデザインまたは製造のものが使われるかもしれません。

16.5 ホビーキャット CO によって製造されていたメッシュとキャンバストランポリンは法的クラスです。

- a) トランポリンは、必要に応じて反対に向きにされるかもしれません。
- b) 水スプレーを防止する収納ポケットとフラップは、加えられるかもしれません。
- c) ハイキングストラップの第 2 セットは、装置されるかもしれなくて、要望通り変えられるかもしれません。
- d) 海上ではハイキングストラップは調節可能ではありません。
- e) トランポリンは、1~3 つの部分から成るかもしれません。

16.6 ツールと個人の便利なアクセサリは、艇まで運ばれるかもしれないかまたは含むかもしれません: テルテール、ツールキット、滑り止め、ウインドインジケーター、ストウバック、飲料クーラー、食物と飲料 その他に不確かな項目で記載されていないなら、Class Rule4 を参照してください。

16.7 エポキシ系接着剤はボートを強化する目的のためにフレームキャストリングに塗られるかもしれません。

16.8 原型の装備として供給されるか、個々のボートクラス Rules で許されない限り、スイーベルコネクタは許されません。

## 17. クルーとクルーの重さ

(Class Rules が最小限の重さを必要とするところ)

17.1 「クルー」とは艇に乗っているすべての人員を含みます。

17.2 同じクルーはレースまたはレガッタの間中使われるものとします。レース委員会から書面による事前の許可なしでクルーを加えられないまたは降りないものとします。

17.3 クルーの交代が負傷または他の特殊事情のため必要であるなら、レース委員会によって承認されない限り、クルーの重さは現重量より少ないのではなく、また 10 ポンド以上 (4.54kg) ではないけません。

\* Rule 17.4 の条項が満たされるならば、重さは最初のクルー重量を維持するためにもたらされるかもしれません。

17.4 最高 50 ポンド (22.7kg) 永久的な乾いた(固体)重量は、クルーの重量を最小限までもたらすために艇の上にもたらされるかもしれません。

a) 重量は動かせるかもしれませんが、艇に置かれるものとします。これは RRS51 を変えます。

b) もし 50 ポンド(22.7kg)以上の最小の重さを作るのが必要である場合、追加クルーを要員するものとします。

17.5 最小限のクルーの重量は靴なしで軽量の衣服を着ていたクルーの体重に基づいています。

a) 軽量衣服は、水着、軽い下着または T シャツ(または類似品)とショーツとされます。

b) クルーはいつでも最小限のクルー重量を維持するものとします。必要ならクルーは最小限のクルー重量を維持するためにレガッタの間重量を増さなければならぬかもしれません。

c) 艇またはクルーについて、最小限の重量違反のため、レガッタの間にいつでも抗議を申し立てることができます。

17.6 最小限のクルー重量を達成するのに必要である重りはいかなる他の目的のためにも使用しないでください。

17.7 Youth そして/またはジュニア大会の目的のために、別の方法でレース公示か Sailing Instructions で定められない限り、以下にあてはまります：

a) Youth シリーズのための競技者は、イベントのその年の 12 月 31 日に 21 歳の年令未満にいるものとします。

b) ジュニアシリーズのための競技者は、イベントのその年の 12 月 31 日に 16 歳の年令未満にいるものとします。

c) ISAF イベント(または、ISAF 時代定義を使用するイベント)までの ISAF イベントと資格取得シリーズのために、すべての競技者は、イベントのその年の 12 月 31 日に 19 歳の年令未満にいるものとします。

17.8 マスターそして/またはグランドマスターのイベントの目的には、以下にあてはまります：

a) マスターシリーズのためのヘルムスパースンはそのイベントの年の 12 月 31 日に 45 歳以上です。マスターシリーズにおける、クルーの年令はオープンです。

b) グランドマスターシリーズのためのヘルムスパースンはそのイベントの年の 12 月 31 日 55 歳以上です。グランドマスターシリーズにおける、クルーの年令はそのイベントの年の 12 月 31 日 40 歳未満でないです。

## 18. パーソナルバラスト、衣類と装備

18.1 IHCA はクルーメンバー一人につきぬれた衣類や装備品着用を最大 22.0 ポンド(10kg)まで許します。これは RRS 43.1(b) を変えます。

a) そのようなパーソナルバラストを着ている競技者は、ぬれた衣類や装備品着用した両方の浮揚ができる一人用浮標用具を着ることを要求されます。

b) パーソナルバラストを加える目的のために重りとウオータージャケットは許されなく、衣類か装備と考えられなくて、また最小限のクルーの重量を達成するために許容しないものとします。

18.2 最小限のクルーの重量を達成するために Rule18.1 の下で着られる少しの衣類または装備も許さないものとします。

## 19. 最小限のボート重量

19.1 個々のクラス Rules で示される最小限のボート重量は、各艇種のためにあって、航行する準備ができて常設され、そして、非可動であるレース用の装備 EXCLUDING は以下です：

a) クッション

b) ライフジャケット

c) トラピースハーネス

d) ツールバック

e) パーソナル用具

f) クルーの重量

19.2 最小限の重さに艇を持ってくることを要求されるすべての重さは、レガッタの間に永久に付けられて、他のどの目的のためにも使えるというわけではありません。

## 20. 広告

20.1 レース公示か Sailing Instructions で指定した RRS80 と ISAF Advertising Code Category C によって、広告は許されています。

20.2 世界のそして大陸のイベントでは、競技者は ISAF Advertising Code、レース公示か Sailing Instructions に従って、広告を表示することを要求されます。

## 21. 規則の管轄

IHCA の管轄の下で地方の中で開催されるすべてのレガッタは以下によって定められるものとします：

RRS、これらの IHCA Rules、適用するところで管轄する National Sailing Authority の規定、レースの公示、Sailing Instructions。

## 22. 抗議申し立て

別の艇について抗議している艇は RRS 61.1(a)に以下の修正を付け加えます：

6 メーター未満の艇のための ISAF 要件はすべての Hobie Catamaran Classes に適用されます。

## 23. 規則解釈

デザインに関する有効な質問または艇とこれらの規則の仕様は、IHCA Rules Committee Chair か IHCA Rules Committee Chair に指名された人によって統治されるかもしれません。

当時の判決は、必要に応じて、受け入れられるか、拒絶されるか、IHCA Rules 委員会によって修正されて、IHCA International Council によって批准されて、恒久的ステータスを IHCA Class Rules において成し遂げる前に、ISAF の承認を得ます。

## 24. 規則改正

24.1 デザインまたは艇（規則追加、削除または改正）の仕様への変化への提案、推奨または要請は、書面で IHCA Rules 委員会に提出するものとします。

提案は Rules 委員会によって見直されるでしょう、そして、メリットを持つとわかるならば、以下のこのためにコメントは広げられます。

ホビーキャットセラー、IHCA の国際 Council メンバー、IHCA の地方の協会、そして、他の利害関係者です。

コメントの期間に続いて、IHCA Rules 委員会は、考慮のために規則推薦をして、IHCA International Council にそれを提出するでしょう。

Council は Rules 委員会の推薦を受け入れるものとするか拒絶するかして、IHCA 承認済み変更を ISAF に提出するものとします。彼らが承認された規則状態を取る前に全体で Rules 委員会 Chair または Rules 委員会によってされた当座か非常時の判決がここに概説されるのと同じ承認の手順を用いるでしょう。

### 24.2

艇のデザインまたは仕様の変更の提案、新しいクラス規則、ルール変更または改正要請コメント、全ての新しい規則と解釈は以下の方法の 1 つ以上で発表されるものとします：

- a) 国際郵便または E-メールで一般 Rule の変更を IHCA メンバーへ送ります、または国際郵便か E-メールで個々の艇のクラスのオーナーに影響を与える個々の規則を送ります。
- b) ホビーキャットセラーと他の利害関係者からコメントを要請する IHCA ウェブページに顕著に表示。

## 25. 責任の否認

競技者は自分の責任でレガッタに参加します。 International Hobie Class Association はレガッタの前、レガッタの間またはレガッタの後に被られた物質的な損害、身体傷害または死に少しの責任も認めません。

## 26. 会員資格

世界と地方の\*選手権で競技しているボートの上のすべてのクルーが International Hobie Class Association の構成に従った International Hobie Class Association の良い地位でメンバーになるでしょう。

他のすべてのイベントでは、レース公示で定められていない限り、競技しているボートの上の少なくとも 1 人のクルーが International Hobie Class Association の構成に従った International Hobie Class Association のメンバーになるでしょう。

\* 地方の選手権は IHCA Regional Championships（例えば、北米の選手権、ヨーロッパ選手権など）定義されます。

## HOBIE16 クラス規則

注意： HOBIE のクラスの一般的な規則はこれらの規則の一部です。

### 1. ラダーとラダーのアセンブリ

1.1 もう一つの材料できているラダーブレードであるが、標準的なラダーブレードの寸法、形と最小限の重さにはかなえば使用されるかもしれませんが。ラダーブレードはプロフィールプランの中で見つけられる最小の、そして、最大の寸法の中で一致しなければなりません。

プロフィールプランは IHCA を通して利用可能です。

1.2 ラダーブレードの最大の厚さは 1.015 インチ(25.8mm)を超えていないものとする。2 フィート(60.96cm)の距離にわたって先細りになります。ラダーの下部の先から 2 インチ(50.8mm) 最大 1/2 インチ(12.7mm)の厚さです。

これらの寸法は参照目的だけのためのものです。正確な寸法のプロフィールプランを参照してください。プロフィールプランは IHCA を通して利用可能です。

### 2. トラベラーとトラベラーカー

2.1 ホビーキャット CO で動くどんな種類のトラベラーカーでも、供給されたトラベラートラックは許容できます。トラックは変えられないか、変わらないか、どんな形であれ加えないでしょう。

2.2 それらがそれぞれのクロスバーに付けられているままであるなら、メインとジブのトラベラークリートの位置とタイプは変更されるかもしれません。

2.3 ジブトラベラーは、クリート、スィーベルまたストッパーがフロントクロスバーに取り付けられるなら要望通りジブトラベラートラックを動かされて、移動するかもしれませんが、ジブ・シートブロックはトラックから移動させないものとします。

2.4 ホビーキャット CO で供給された統合トラベラーシステムは法的クラスです。

### メインとジブセイル

3.1 ジブグループプレート、その最も長いポイントでせいぜい 8 インチ(20.32cm)を測定、5 つの調整穴を含んで、ジブに加えられるかもしれません。

a) 最高 1-1/2 インチ(38.1mm) 斜めに測定されたセイルでグループプレートのインストールのためにジブから取り除くかもしれません。

b) グロメットは内径 1-1/2 インチ(38.1mm) と測定するというわけではなく、ジブプレートに代わってジブのクローに置かれるかもしれません。

3.2 ジブバテンポケットかマジックテープタイプシステムが、バテン帯の必要性を排除するために Hobie16 ジブリーチにインストールされるかもしれません。

3.3 ダクロンセイルは IHCA 認可のパターンから作り上げて、ホビーキャット CO によって製造しました。法的クラスです。

3.4 マイラーセイルは IHCA 認可のパターンから作り上げて、ホビーキャット CO によって製造しました。北米地方だけで法的クラスです。マイラーセイルはいかなる国際的イベントでは、法的なクラスではありません。

3.5 ジブのラフテンションはセイリングしている間、セイルのタックは調整可能ではありません。

### マスト

#### ホビーキャット 16 規則 4.1 の裁決

4.1 標準の 3:1 ジブ・ハリヤードダウンホールシステムは必要に応じて移動するかもしれません。

a) ジブのヘッドにインストールされた 3:1 の最大に動く滑車システムはピッグテイルと標準のジブダウンホールシステムに代わるかもしれません。

b) クリートは、マストを円滑に下りながらマストの上にジブ・ハリヤードで残らなければならないくて、セイリングしている間、クリートに付きました。

c) ジブ・ハリヤードテンションはセイリングしている間、調整されるかもしれません。

d) マストのセンターにハリヤードを引くためにマストの上に両方のクリートにジブ・ハリヤードにすべり止めをつけることができます。

e) チークブロックは、マストの前のセンターにハリヤードを動かすので、マストのセンターに加えられるか、または動かされるかもしれません。ブロックは、この場合マスト押出しのベースの最小の 51mm 上に測定が指すのでこれとブロックの最も低い座面を使用することで位置するものとします。

f) 追加されたチークブロックは、センターチークブロックから角状のキーパークリートまでハリヤードを誘導するために加えられるかもしれません。このブロックは、マスト押出しのベースの最大の 640mm(25、19 インチ)上に測定が指すのでこれとブロックの最も高い座面を使用することで位置するものとします。

g) 表面の取り付けられたカムクリートは、ハリヤードを調整するのをより簡単にするために角状のキーパークリートの正面で加えられるかもしれません。カムクリートは、どんな角度にも取り付けられますが、取り付けられた表面でなければならず、端から端まで旋回しないかもしれません。

h) 摩擦を得るために、ジブハリヤードは、カムクリートによって行く前に、数回、マウントしたチークブロックを通り抜けるかもしれません。

i) ハリヤードが調整されていないとき、ハリヤードは、カムクリートを貫くかもしれませんが、角状のキーパークリートへ端を結ばれるものとします。

j) マストベースまたはジブヘッドとマストタングの間には、ジブ・ハリヤードへの動きがあるものとします。それが 5:1 を超えていないものとするベースにあるならば、ハリヤードはワイヤーになるでしょう。

4.2 マストの後でハリヤードを動かす目的のためのハリヤードクリップは許されます。ハリヤードはマストの上のオリジナルのクリートに動かぬようクリートされなければなりません。

4.3 あなたの選んだパッドアイと一つのクリートはカニングム調整のために 2:1 で動くに等しくなっていない 1 つのラインから成ってマストのどちらの側面にも追加されるかもしれません。

4.4 ホビーキャット CO によって供給された各マストの周りに警告ラベルがあります、警告ラベルはマストトラックの始まりの下に位置します。

4.5 マスト・ステップキャストに最小限のファイリングまたはカットは回転を改良する目的のために許されますが、マストレーキを達成する目的のために金属を取り除かないものとします。ストッパーは標準のマストストップを取り替えるために加えられるかもしれませんが調整可能ではありません。

4.6 キャスティング回転ストッパーは除かないものとします、マストベースキャストは変更されるかもしれませんが、そして、マストは左右に回転が自由であるものとします。

マストは調整を許すために競技している間は規制をしません、それは一般ルールのルール # 16.1 に概説されているまたはこれらのボートクラス規則で説明される以外のものとします。

4.7 それがマストトラックの先端の上のセイルヘッドを掲げることが許されません。

## 5. ワイヤー

5.1 ピンでとめるブライダルの長さは 44 インチ(111.8cm)ピンより短くありません。

5.2 ピッグテイルは強さだけを増加させるように変えるかもしれません。ホビーキャット CO から供給された艇のマストタングとジブ・ハリヤードブロック同じ方法で接続しなければなりません、(ジブ・ハリヤードが 4.1a によって変更される以外)。

## 6. 装備

6.1 すべてのウンホールシステムは 2005 年 4 月 1 日付け前に許された法的クラスのままです。

a) アップグレードしたダウンホールシステムは、ホビーキャット CO によって供給されるようにあって、6:1 の動きを超えていないものとします。システムを逆にしないで、システムの下側の端のクリートと共に使用しなければなりません。

b) ホビーキャット CO によって供給されたマストベースとグーズネックがカスタムメイドの付属品が使用されているなら、アップグレードしたシステムの上のブロックとクリートを同様のタイプに取り替えるかもしれません。

c) スイベルカムクリートは許されていません。アップグレードしたダウンホールデザインは端から端まで何らかの限られた

運きを持っています。どんな交換カムも超えないかもしれない、交換カムはホビーキャット CO によって供給された端から端までの動きをするものを上回ってはなりません。

6.2 アウトホールの動きは 2:1 を超えていないものとします。内部アウトホール装置は許されていません。アウトホールシステムはオーナーとスキッパーの仕様が変わるかもしれませんが、アウトホールラインはブームのエンドキャップをひくと規定しました。任意の摩擦還元エンドキャップはホビーキャット CO を供給され許されています。そのようなエンドキャップは束を築き上げるかもしれません。Inhaul システムは許されていません。

6.3 クルーキーパーラインはメインセイルのクルーを通してブームに結ばれるかもしれません。ブロックかクリートを使用しないものとします。ブームのトラックに収まるスラグ(最高 2 つ)はクルーキーパーの代わりにメインのクルーに付けられるかもしれません。

6.4 ホビーキャット CO で提供したドルフィンストライカーは取り除かれませんが。

6.5 1 デッキあたり 2 つの点検ポートがボートに加えられるかもしれません。

6.6 スイベルコネクタはジブフォアステイのピッグテイルの下側の端にインストールされるかもしれません。

6.7 フォットストラップはクロスバー、サイドバーまたはハルの上にインストールされるかもしれません。

6.8 サイドバー、クロスバー、およびデッキは、フットイングを改良するためにコーティングされるかもしれません。

6.9 セイフティラインは許されます。

6.10 追加されたグロメットはトランポリンに加えられるかもしれません。

## 7. 最小限のクルー重量

7.1 Hobie16 の最小限の合わせたクルー重量は 285 ポンドです。(129.3kg) (一般的な規則 17 を見てください)

7.2 女性クラスの競技イベント(非オープン・ゲーム)での最小限の合わせた女性クルー重量は 260 ポンドです。(118.2kg)

7.3 Youth Events の目的のための最小限の重量は 250 ポンドです。(112.5kg)

## 8. 最小限の艇重量

Hobie16 の最小限の重量は完全に組み立てられて 320 ポンドです。(145.15kg) (一般的な規則 19 を見てください)

## 9. トラピース

最大 2 本のトラピースワイヤは艇の各側面に許容されています。供給されたワイヤは短くされたり伸したり調整可能なシステムをインストールするかもしれませんが。